

# 個人番号カードのメリット

## 個人番号を証明する書類として



○個人番号を証明する書類として  
個人番号カードを提示

番号法施行後は、就職、転職、出産育児、病気、年金受給、災害等、多くの場面で個人番号の提示が必要となる。

○所得把握の精度向上  
○公平・公正な社会を実現

券面

## 各種行政手続のオンライン申請



○電子申請(e-Tax等)の利用  
○行政からプッシュ型の情報(お知らせ)を取得

マイナポータルへのログインをはじめ、各種の行政手続のオンライン申請に利用できる。

○行政の効率化  
○手続き漏れによる損失の回避

電子  
証明書

## 本人確認の際の公的な身分証明書として



◇個人番号の提示と本人確認が同時に必要な場面では、これ1枚で十分。唯一のカード。  
◇金融機関における口座開設、パスポートの新規発給、フィットネスクラブの入会など、様々な場面で活用が可能。

なりすまし被害の防止

券面 または 電子  
証明書

## 各種民間のオンライン取引/口座開設



○インターネットにおける不正アクセスが多発  
→公的個人認証サービスの民間開放  
○インターネットへの安全なアクセス手段の提供

オンラインバンキングをはじめ、各種の民間のオンライン取引に利用できるようになる。

オンラインバンキング等を  
安全かつ迅速に利用

電子  
証明書

## 付加サービスを搭載した多目的カード

- 市町村等～印鑑登録証、図書館カード等として利用可能
- 国～健康保険証、国家公務員身分証の機能搭載を検討中



将来的には様々なカードが  
個人番号カードに一元化

券面 または アプリ または 電子  
証明書

## コンビニなどで各種証明書を取得



○コンビニ等において住民票、  
印鑑登録証明書などの公的な  
証明を取得できる。

現在、約100市町村(国民の約2割)が利用できる。アンケート調査によると、今後、約800弱の市町村が導入予定(国民の約8割)。

○住民の利便性向上  
○市町村窓口の効率化

アプリ または 電子  
証明書